

◆地元のチームとしてできること

活動を通して、全国の被災地支援に関わっている井上恵太さんと一緒に活動する機会がありました。「これまで東北などで取り組んで来た活動を佐賀の地元のチームとして繋いでほしい」という想いから、キャンドルづくりを教えて頂き、サロンなどで実施しています。



活動実績

活動日数：109日 活動者数：257人（延べ）

- 令和3年4月 ・地域：武雄市、太良町、大町町、人吉市 ・日数：5日 ・人数：延べ11名
・内容：会議、戸別訪問、出張おもフェス、防災講座など
- 令和3年5月 ・地域：武雄市、大町町、長崎市 ・日数：4日 ・人数：延べ4名
・内容：戸別訪問、防災イベント、避難所設置体験会、TAKE NO EN など
- 令和3年6月 ・地域：武雄市、大町町 ・日数：6日 ・人数：延べ14名
・内容：防災グッズの受渡し会、防災イベント、おもやいフードリンクなど
- 令和3年7月 ・地域：神崎市、武雄市、長崎市 ・日数：8日 ・人数：延べ18名
・内容：拠点設置の工事、戸別訪問、取材対応、TAKE NO EN など
- 令和3年8月 ・地域：武雄市、神崎市 ・日数：13日 ・人数：延べ22名
・内容：戸別訪問、被災家財の搬出、家屋清掃、床下対応、子どもの遊び場など
- 令和3年9月 ・地域：武雄市、大町町 ・日数：14日 ・人数：延べ31名
・内容：戸別訪問、避難所訪問、床下対応、乾燥確認など
- 令和3年10月 ・地域：武雄市、唐津市、大町町 ・日数：13日 ・人数：延べ43名
・内容：家屋清掃、乾燥確認、床下対応、足湯会、ケアマネ協議会研修会など
- 令和3年11月 ・地域：武雄市、大町町、太良町、大牟田市 ・日数：10日 ・人数：延べ28名
・内容：壁剥ぎ、家具搬入、床下対応、家屋清掃、防災講座、大感謝祭など
- 令和3年12月 ・地域：武雄市、大町町、太良町、大牟田市 ・日数：13日 人数：延べ45名
・内容：床剥ぎ、家具搬出、クリスマス会、子どもの遊び場、ワークショップ
- 令和4年1月 ・地域：武雄市、大町町、神戸市 ・日数：10日 ・人数：延べ19名
・内容：戸別訪問、家屋清掃、床下対応、家具搬出、復興・減災フォーラムなど
- 令和4年2月 ・地域：武雄市、大町町、太良町 ・日数：6日 ・人数：延べ12名
・内容：戸別訪問、罫張り作成、床剥ぎなど
- 令和4年3月 ・地域：武雄市、大町町、太良町 ・日数：8日 ・人数：延べ10名
・内容：戸別訪問、子どもの遊び場、家屋清掃など

OKBASE (オカベース)

代表：岡部 出紀夫

【事務局】〒842-8585 佐賀県神埼市神埼町尾崎 4490-9

西九州大学 岡部研究室内

TEL：0952-37-9263（岡部研究室） E-mail：okbase@icloud.com



Facebook Instagram



令和3年8月豪雨災害等 被災地支援活動報告

発行：令和4年4月

Vol. 3

被災地支援チーム「OKBASE」とは、西九州大学社会福祉学科の学生、卒業生、教員により編成された被災地支援チームです。令和3年8月には2度目の水害により武雄市、大町町と甚大な被害がありました。それぞれの地域での活動を一般社団法人おもやい、大町町防災交流拠点「Free Space Peri.」の方々と連携し、取り組んでいます。他にも多くの団体さんと協力して様々なニーズに柔軟に対応しています。

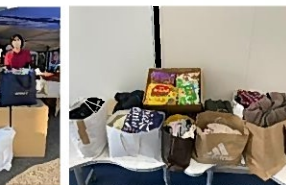


支援物資のご協力ありがとうございました！

『令和3年8月豪雨災害 支援物資プロジェクト第1弾・第2弾』

諸隈 陽子 様、猪股 美彩 様、河野 有奈 様、福嶋 正子 様、たくみん 様
西谷 仁妙 様、岡崎 様、今田 秀 様、鷹尾 優輝 様、岡部 ひろみ 様、Y 様
九州医療専門学校卒業生 様、香りサポートの会 岡野 喜保 様、ぬれぬずみ隊 小林 由佳 様
Heart one Ark 磯本 成美 様・相浦 明子 様、一般社団法人 epo おかやま笑顔プロジェクト 様

※順不同にて掲載



西九州大学 健康福祉学部 社会福祉学科

被災地支援チーム OKBASE

【助成プログラム】

- ★令和2年7月豪雨災害・学生災害ボランティア支援の会「学生災害ボランティア支援金」
- ★佐賀未来創造基金「佐賀災害基金」2019年度、2020年度 第2～3期、2021年度 第1～3期
- ★公益財団法人 風に立つライオン基金「令和3年8月大雨災害支援活動助成」

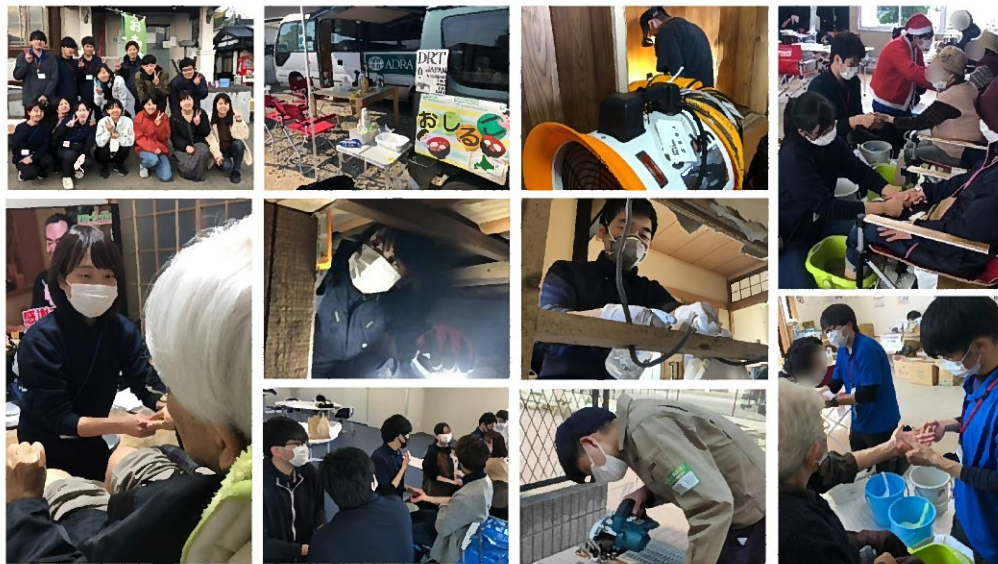
1年間の活動の振り返り

令和3年8月豪雨災害被災地支援、様々な支援団体との繋がり

日頃より連携しているおもやいボランティアセンターにて、継続した戸別訪問での足湯、ハンドケアの実施、サロン活動などへの参加、大町町では、災害が発生しやすい場所の地域住民さんを対象に防災グッズなどの使用方法の説明や避難所設置体験などに取り組んで来ました。

令和3年8月の災害では、被害を受けた武雄市、大町町にて被災家屋の片付けなどをはじめ、戸別訪問での関わりを通して被災者のニーズの把握を行いました。活動の中で自身の無力さに悩むメンバーもいましたが、サロンなどの活動を通して関わった住民さん方に「来てくれてありがとね」と言葉を頂き、参加する事に意味があると実感しました。また、「TAKE NO EN」(長崎市)の約40年前に起こった長崎大水害への追悼や防災講習などのイベントへ参加、「2022年復興・減災フォーラム」(神戸市)では活動報告や被災地支援に対する情報共有など、様々な支援団体との関わりを通して、佐賀県内に留まらず県外で災害について学ぶ貴重な機会となりました。他にも人吉市での「CDST おれんじびーす」(九州看護福祉大学)との足湯交流会では、住民さんとながら大切さを共有することができました。

今後も活動を通して関わった方々との「繋がり」を大切に、また多くの方に支えられながら活動ができていく事を忘れずに、OKBASE などのカタチで地域に寄り添った支援を行ってきたいと思います。



コロナ対策

マスク着用、手指消毒の徹底と抗原検査の実施

まん延防止等重点措置が発令された際、佐賀県外から通うメンバーには県を跨ぐ移動は控えるなどの対策を行い、感染防止を徹底しました。

☆抗原検査キットは、「公益財団法人 風に立つライオン基金の助成金」にて購入



取組紹介

防災から被災地支援、交流等の幅広い活動に取り組んでいます

◆防災の取り組み

大町町で開催された防災講座の参加し、ハザードマップの事前確認や住民同士の連携(共同)の重要性を学びました。子どもたちとの避難所設置訓練では一緒に簡易ベッドの組み立てを行うなど、住民さんと一緒に防災対策について学ぶ事ができました。また、武雄市での防災講座や連携団体が行うあんしんセットの配布会でも活動を行ないました。



◆連携プロジェクト

令和3年12月より認定NPO法人レスキューストックヤード(名古屋市)と連携して「あったかごはんプロジェクト」を始動させました。このプロジェクトは、住民さん宅などでご飯をつくり一緒に食べることに加え、活動を通して住民さんの役割や強みを見出す事も大切にしています。

今後も活動を通して、人と人のつながり、喜びや楽しみを創生していきます。



◆学生交流

被災地で活動する「CDST おれんじびーす」(人吉市)や「関西学院大学災害コミュニティ つむぎ」(武雄市)、神戸市での「復興・減災フォーラム」へ参加し、被災地で活動する学生と交流しました。

被災地での活動を他の学生団体とも共有することの大切さを実感しました。



◆サロン活動

地域住民さん同士の交流の場として、武雄市内の公民館等で週に一回開催されているサロンで支援活動も行っています。サロンでは住民さんのお話を伺うことをはじめ、足湯やアロマキャンドルづくりを行いました。ゆっくりとした時間の中で住民さんとながら機会となっています。



取材・活動報告

被災地支援の活動取材していただきました

- ☆取材☆
 - ・「西九州大の被災地支援チーム 被災者と交流深める」佐賀新聞 令和3年7月30日掲載
 - ・「ニュースこの人」佐賀新聞 令和3年9月8日掲載
- ☆活動報告☆
 - ・唐津市・唐津東松浦地区介護支援専門員協議会研修会 (令和3年10月)
 - ・かわそえネットワーク勉強会 (令和3年12月)
 - ・関西学院大学災害復興制度研究所主催「2022年復興・減災フォーラム」(令和4年1月)